

平成30年3月霧島山(新燃岳)噴火に伴う対応

平成30年3月8日
九州地方整備局

○霧島山(新燃岳)で平成30年3月1日11時頃噴火が発生。3月6日以降、爆発的噴火が発生。
(噴火警戒レベルは3が継続)。

○降灰状況の把握のため、九州地方整備局がヘリ調査(3月1日、6日)や地上からの現地調査(3月2日、3日、6日、7日)を実施。調査の結果、新燃岳の東側や南側で火山灰が見られたものの、山麓で厚い火山灰の堆積は認められず、今後も火山の状況を注視しながら観測を継続する予定。

○3月5日に、新燃岳周辺の雨量観測所(矢岳観測所)で最大時間雨量約40mm、累積雨量約100mmの降水を観測したが、現在のところ土石流は非発生。



降灰調査の様子(平成30年3月7日)



新燃岳の噴火状況(平成30年3月6日18時)



宮崎県都城市付近の状況
(平成30年3月6日ヘリ調査)